

平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月9日

上場会社名 株式会社 桜井製作所
 コード番号 7255 URL <http://www.sakurai-net.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役部品部部长兼総務部部长
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 桜井 成二
 (氏名) 河合 誠一郎
 TEL 053-432-1711

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	1,004	△0.6	△36	—	△15	—	△24	—
30年3月期第1四半期	1,010	32.2	17	—	36	—	37	—

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 △86百万円 (—%) 30年3月期第1四半期 14百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	△6.26	—
30年3月期第1四半期	9.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	7,470	5,309	71.1	1,343.99
30年3月期	7,643	5,460	71.4	1,378.81

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 5,309百万円 30年3月期 5,460百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	—	—	15.00	15.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年 3月期の連結業績予想(平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,460	8.0	5	△92.4	30	△71.6	22	△77.6	5.55
通期	5,010	4.0	30	△45.1	100	△26.4	80	△36.5	20.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	4,000,000 株	30年3月期	4,000,000 株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	49,634 株	30年3月期	39,634 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	3,958,699 株	30年3月期1Q	3,986,299 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予測などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続き、緩やかな回復基調で推移しました。一方、海外においては米国の通商政策による貿易摩擦問題や金融資本市場の変動による影響など懸念材料も多く先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,004百万円と前年同期に比較して5百万円(前年同期比0.6%減)の減少となりました。セグメントごとでは、自動車部品製造事業が汎用機部品等の増加により950百万円、工作機械製造事業が専用工作機械等の減少により54百万円となりました。

利益面につきましては、営業損失は、海外子会社での一時的な売上原価の増加等が主な要因となり36百万円(前年同期は営業利益17百万円)となりました。経常損失は、上記と同様の理由により15百万円(前年同期は経常利益36百万円)となりました。その結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は24百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益37百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、売掛金等が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ172百万円減少し、7,470百万円となりました。

負債につきましては、未払金等が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ21百万円減少し、2,161百万円となりました。

純資産につきましては、その他有価証券評価差額金が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ151百万円減少し、5,309百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の業績予想につきましては、平成30年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,394,487	1,312,068
受取手形及び売掛金	843,843	536,772
電子記録債権	39,418	40,228
有価証券	600,000	300,000
製品	16,826	20,118
仕掛品	272,813	582,718
原材料及び貯蔵品	115,742	92,822
その他	67,086	87,451
貸倒引当金	△826	△534
流動資産合計	3,349,392	2,971,644
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	593,168	573,780
機械装置及び運搬具(純額)	1,357,115	1,339,756
土地	673,495	673,495
建設仮勘定	294,999	573,069
その他(純額)	86,713	103,507
有形固定資産合計	3,005,492	3,263,609
無形固定資産	37,769	41,228
投資その他の資産	1,250,485	1,193,839
固定資産合計	4,293,747	4,498,677
資産合計	7,643,139	7,470,321
負債の部		
流動負債		
買掛金	321,461	417,172
短期借入金	328,200	308,593
1年内返済予定の長期借入金	20,000	50,000
未払法人税等	15,972	234
賞与引当金	48,968	-
役員賞与引当金	5,000	1,260
その他	279,162	254,919
流動負債合計	1,018,766	1,032,179
固定負債		
長期借入金	580,000	550,000
役員退職慰労引当金	9,368	9,368
退職給付に係る負債	234,031	239,723
資産除去債務	73,440	56,554
その他	266,933	273,237
固定負債合計	1,163,773	1,128,884
負債合計	2,182,540	2,161,064

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	200,700	200,700
資本剰余金	25,563	25,563
利益剰余金	5,146,677	5,062,462
自己株式	△23,087	△28,851
株主資本合計	5,349,853	5,259,875
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	230,498	181,755
繰延ヘッジ損益	1,461	-
為替換算調整勘定	△121,213	△132,373
その他の包括利益累計額合計	110,745	49,382
純資産合計	5,460,599	5,309,257
負債純資産合計	7,643,139	7,470,321

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	1,010,544	1,004,858
売上原価	811,335	866,996
売上総利益	199,208	137,861
販売費及び一般管理費	181,910	174,223
営業利益又は営業損失(△)	17,298	△36,361
営業外収益		
受取利息	646	95
受取配当金	3,669	4,194
受取賃貸料	12,752	12,361
為替差益	-	1,609
売電収入	8,503	8,311
雑収入	2,182	3,534
営業外収益合計	27,754	30,106
営業外費用		
支払利息	11	2,869
不動産賃貸原価	3,389	3,311
為替差損	1,102	-
売電費用	3,869	3,412
雑損失	1	17
営業外費用合計	8,374	9,611
経常利益又は経常損失(△)	36,679	△15,866
特別損失		
固定資産廃棄損	420	0
特別損失合計	420	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	36,259	△15,866
法人税、住民税及び事業税	234	△4,577
法人税等調整額	△978	13,519
法人税等合計	△744	8,942
四半期純利益又は四半期純損失(△)	37,003	△24,808
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	37,003	△24,808

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	37,003	△24,808
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23,724	△48,742
繰延ヘッジ損益	267	△1,461
為替換算調整勘定	607	△11,159
その他の包括利益合計	△22,848	△61,363
四半期包括利益	14,154	△86,171
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,154	△86,171

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	自動車部品製造 事業	工作機械製造 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	772,689	237,855	1,010,544	-	1,010,544
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	1,091	1,091	△1,091	-
計	772,689	238,947	1,011,636	△1,091	1,010,544
セグメント利益又は損失 (△)	64,900	△47,602	17,298	-	17,298

(注) セグメント利益又は損失と四半期連結損益計算書の営業利益に差異はありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	自動車部品製造 事業	工作機械製造 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	950,679	54,179	1,004,858	-	1,004,858
セグメント間の内部売上高 又は振替高	623	16,125	16,749	△16,749	-
計	951,303	70,305	1,021,608	△16,749	1,004,858
セグメント利益又は損失 (△)	37,223	△73,584	△36,361	-	△36,361

(注) セグメント利益又は損失と四半期連結損益計算書の営業損失に差異はありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

資本金の額の減少及び資本剰余金(資本準備金)の額の増加

当社は、平成30年5月10日開催の取締役会において、平成30年6月27日開催の第70回定時株主総会に資本金の額の減少について付議することを決議し、同株主総会において承認可決され、平成30年8月1日付でその効力が発生しております。

1. 資本金の額の減少の目的

当社において、現行の法律や制度における中小企業としての優遇措置を活用できるようにすること、並びに今後の当社の機動的かつ効率的な運営を推進するための資本政策を備えるものであります。

2. 資本金の額の減少の要領

(1) 減少する資本金の額

資本金200,700千円のうち100,700千円

(2) 増加する資本剰余金の項目及びその額

資本準備金100,700千円